ほうじん さかた

● あたらしい時代の経営者へ　法人会 ●

発 行 所
酒田市中町二丁目４番１号
公益社団法人 酒田法人会
TEL 26－4772　FAX 26－4788
URL http://www3.ocn.ne.jp/~s.houzin
E-mail s.houzin@jeans.ocn.ne.jp

「公益社団法人」移行三年目 組織総点検の仕上げの年に

第３回通常総会が、５月23日㈮ベルナール酒田で開催されました。県内各単位会に先駆けて公益社団法人に移行し、二年間の実績を踏まえ、新年度の運営を話し合う場となりました。

― 公益社団法人酒田法人会 ―
第３回通常総会報告

挨拶する弦巻副会長

総会開催に当たっては、予め総会案内に議案書（簡易版）と資料を全会員に発送し、出席を要請しました。その結果、当日総会出席者は１０９名、議決権行使書の提出５６８件、委任状提出１１１件となり、定款第17条の規定に基づく定足数を満たしていることが報告され総会開催となりました。

また、議事に入る前に、恒例の「表彰式」が行われ、８名３地区が表彰されました。

議事では、報告事項として、平成25年度の事業報告及び平成26年度事業計画及び収支予算が事務局より報告されました。この報告事項は、それぞれ定款の規定に基づき、理事会の承認を受け、総会に報告をするものです。総会での議決事項として、平成25年度決算書類の承認は、監事の監査報告と共に報告され、承認されました。

総会に先立ち開催された記念講演会は、ＴＢＳテレビ報道局　解説・専門記者室長の杉尾秀哉氏が軽妙な語り口で「今後の政局と日本経済の展望」―アベノミクスの行方―と題し１３０名の聴衆を前に語っていただきました。その後の質疑応答でも、質問者が続き予定時間をオーバーするほど盛り上がりました。

表彰を受けられた皆さん

(1)
会員増強運動功労者表彰
小名　守 氏
㈱新和
西村　修 氏
仮設機材工業㈱
渡部　政雄 氏
㈱サンライズスポーツ

(2)
会員増強目標達成地区表彰
八幡地区
松山地区
平田地区

(3)
研修会等事業推進者表彰
阿部　昭 氏
㈱阿部製材所
林　耕太郎 氏
Ｔ＆日本メンテ開発㈱
志田　正義 氏
志田建設㈱
畑山　修一 氏
㈱畑山

(4)
感謝状贈呈
西村　文樹 氏
大同生命保険㈱
山形営業支社
庄内営業所

平成26年度 事業活動の方針について

第３回通常総会に報告された「平成26年度事業計画・収支予算」は２月21日開催の理事会で審議し、その結果を報告したものです。

●来賓挨拶●

酒田税務署
小山総務課長

山形県
佐藤庄内総合支庁長

基本方針

「公益社団法人」に移行し、３年目を迎え、これまで「法人制度改革」の精神に沿って取り組んできた組織総点検の仕上げの年と位置付けたい。

今年度の基本方針は、引き続き

(1) 税務関係を中心にしつつ、公益性比率を重視した取組を展開する

(2) 組織基盤の整備に努め、加入率の維持・向上に努めることとしました。

税制改正に向けた提言・要望

税制改正に関する活動は、法人会の主たる活動であり、税制に関する調査研究を継続し、会員の要望を取り纏め、（公財）全法連の提言・要望に繋げていきます。また、「税制改正提言」活動として自治体・議会に働きかけて参ります。

税務行政の円滑化

国・地方が推進する電子化施策に協力する立場で、会員に対して啓発活動を継続して参ります。ＰＣ環境によっては、習熟することに課題もあるので、関係当局と連携を密にし、環境整備の促進を図っていきたいと考えます。

社会貢献について

公益法人になり、以前に増して組織規模に見合った社会的責任が、強く求められるようになりました。その意味で、本部及び青年部会・女性部会・研修部会が一体となって諸活動に取り組むことで、社会貢献に寄与できるものと考えます。今年も、広く参加者を募っての公開講演会・研修会等を開催するとともに、共催事業にも可能な限り協力していきます。

８年目を迎える、小学生を対象とした「出前租税教室」は特徴的な活動として評価されており、今年度も継続して実施して参ります。

酒田税務署から感謝状贈呈

組織強化・基盤の充実

組織強化の取組みは、今年度も最重要課題と考えます。組織が健全に維持・活動が可能になるには、一定の加入率と、会員の参加が不可欠です。日頃から、地区の情報を共有化し、会員の相互交流をとおして会の方針・考え方を広く周知して参ります。

また、賛助会員の加入促進についても、積極的に取組んで参ります。

会員福利厚生の取組み

会員向け福利厚生事業は、引き続き保険各社と連携を図りながら、その有用性について、周知・斡旋・普及に協力して参ります。また、会員ニーズを掘り起こし、加入拡大に繋げて参ります。

第3回 通常総会 記念講演会

今後の政局と日本経済の展望

～アベノミクスの行方～

講師／ＴＢＳテレビ報道局　解説・専門記者室長

杉　尾　秀　哉 氏

講師の先生は、昭和32年兵庫県のお生まれで、東京大学文学部卒業後、㈱東京放送に入社。報道局に所属し、記者、編集者として時の政治の中心を取材してきました。「ニュースの森」キャスターとして視聴者に分かり易い報道に従事してきました。軽妙な口調で安倍政権を取り巻く状況と今後の日本について分かり易く解説していただきました。

安倍政権誕生の裏側

おととしの暮れに衆議院選挙があって、自民党政権ができ1年5か月が経過した。その間、参議院選挙があり衆参ねじれ現象が解消し、安倍長期政権の基礎ができてきた。第2次安倍政権は、運にも恵まれ、長期政権の様子を呈している。その典型が、２０２０年東京オリンピック開催が決定したこと。本命視されていたイスタンブールが、国内の政情不安と隣国の内戦などから不安視され、相対的に東京が浮上した。

また、就任前は行き過ぎた円高、株安で六重苦といわれていた日本経済だったが、アベノミクスが登場したことで、一斉に海外の投資家の眼が日本に向いた。

是正のタイミングが良かった。

最初、出馬に躊躇していた自民党総裁選挙も、有力な対抗馬が次々に脱落する中で、盟友のひざ詰め談判で覚悟を決めた。

安倍政権の行方

6月22日で国会が閉会し、内閣改造の話題が出てくる。総裁選挙に出馬するときに功績があった人への処遇が関心の的。

菅さんと、麻生さんは総理の信頼が厚い。総理の周辺には二つのグループがあり、考え方が近いタカ派の人達と、実務派の人達。安倍政権を動かしているのは、「３Ａ＋Ｓ」と言われ、重要な政策は、ここで決められている。例えば、今話題の農協改革の話も、農林水産大臣に相談されていない。

戦後総理大臣を2回やったのは、吉田茂と安倍さんのみ。二人は非常に共通項がある。第2次～第5次吉田内閣は、6年間でいろいろの業績を残した。安倍総理自身、今後6年と言っており、多分に吉田さんを意識していると思うが、そのくらい長期間やらないと、自分の考えているゴールにたどり着かない。

安倍総理の目指すゴール

安倍総理が目指すゴールは、憲法改正。しかも、9条。いくらなんでもズバリ改正は、ハードルが高すぎる。そこで、出てきたのが、憲法改正2段階論。

まず96条を改正し、発議要件を最初に下げて、それから9条、13条、25条の改正に着手する。しかし、2段階論には国民の反対が意外と多かった。

憲法改正は時間が掛かるので、当面憲法改正をしなくてもできる強い国づくりに専念することになった。経済の強い国づくりがアベノミクス、政治の面での強い国づくりが安全保障政策の強化。

しようとしているのではないかとみられている。仮に安倍政権が失速することがあるとすれば、歴史認識問題だろう。

ＴＰＰ交渉は、シンガポールで閣僚交渉が基本合意できなかった。メディアによって報道内容が異なるが、日米間で基本合意しているとみている。焦点だった牛肉も豚肉も大幅に関税が下がるが、豚肉の方が大変だろう。ただ、表に数字を出せない状態だ。

去年、安全保障会議を創りセットとなる特定秘密保護法案を無理やり通した。今年は、集団的自衛権の行使。２０１６年７月に衆参ダブル選挙で勝てれば、戦後レジュームの脱却の総仕上げができると考えている。

安倍政権の外交政策

菅さんが、ずっと止めていた総理の靖国参拝は、外交的に大きな痛手となった。アメリカも欧米も阿倍さんの事を非常に警戒している。戦後の歴史を修正し、アベノミクスの成果が表れるのは、２～３年かかる。

さらに、４月に消費税増税があった。いろいろの経済指標をみると、消費税増税の駆け込み需要の反動は、想定内としている。

ただ、日本の景気は外的要因に左右されることが多く、先行きの見通しはもう少し慎重に見る必要があるが、いまのところ想定内。

日中、尖閣問題はリスクと認識され、保険業界での戦争リスクの数字が少しずつ上がっているようだ。

アベノミクスの成果

昨年前半は、外国人の投資家が買い越したことで株高・円安が進み、１年間で60％も上昇した。しかし、今年になって外国人投資家は日本の株を買っていない。アベノミクスの成長戦略がはっきりしないと、若干の疑問符が付けはじめられた。しかをする３本目の第１弾は評判が悪かった。第２弾を６月に発表予定で、目玉は法人税の実効税率の引き下げ。

ただ１％の引き下げが５００億の影響なので、５年くらいかけて10％下げることに落ち着くのではないか。

消費税10％は

来年10月に10％の予定になっているが、するかしないかの判断は、今年の年末までに判断。来年、再来年の政治日程を考えると、安倍総理の本心は、増税をしたくない。党内にも、経済界にも慎重論がある。ただ上げないことが、日本の将来に良いかはわからない。今日本の借金が１，０００兆円を超えている。基本的財政収支（プライマリーバランス）を黒字化するに必要な消費税は、20％と言われている。ここまで上がったら、仕事や商売はどうなるだろうか。

アベノミクス、三本の矢、１本目、２本目は効いたが、２本目の効果が薄れかけてきた。昨年発表した民間の成長の後押し

アベノミクス世界戦略

アベノミクスの成長戦略を後押しするのが、アジアの活力。今アジアの中に中間層、富裕層が猛烈な勢いで増えている。この人たちが日本の製品、農産物を買ってくれるか、日本に来てくれるかがカギ。アメリカと中国が経済戦略で主導権争いをしているが、将来的にはＡＰＥＣ（アジア太平洋首脳会議）参加国全体でＦＴＡＡＰ（アジア太平洋自由貿易圏）を作る構想があり、大きな自由貿易の流れが、世界の成長センターのアジアで起こっている。こうしたアジアの活力をどこまで取り込められるかでアベノミクスを左右する。

人口減少問題

２０６０年、日本の人口が８，６００万人と推計されている。１年で約80万人減少する。特に地方では人口減少が深刻な問題となる。社会保障の面では、胴上げ社会から今では騎馬戦型になっており、将来は肩車社会になる。下の馬がつぶれると社会が衰退するので、馬がつぶれない仕組みが必要になる。一つは、上を軽くする。年金額を減らす、支給開始年齢を遅らす。二つ目は下の馬を強くする方法。キーワードは女性、高齢者、外国人。女性が社会進出しやすい就労環境の整備、定年制の廃止、外国人・移民をどこまで受け入れるのか。

日本の向かう方向

日本は世界に先立ち課題を突き付けられたが、ことごとく解決してきた。日本は老人大国になりつつあるが、アジアもアフリカも南アメリカも同じ課題に直面する。日本が先駆けてこの問題を解決できれば、世界モデルになる。成長センターのアジアには膨大な市場があり、高度な技術力もある。治安の良さ、文化、サービスの質、美しい自然などのソフトパワーを十分生かし、大転換期にアジャイル（機敏）に対応できるかにかかっている。

平成26年度「税を考える週間」記念事業

「吉川 忠英＆フレンズ」
― 平原を抜ける風!! ―

毎年、11月11日から17日までを「税を考える週間」として、国民の皆様に税の意義や役割について考えていただくとともに、税務行政への理解を深めていただくため、各種広報広聴活動を行っています。

今年は、吉川　忠英（ちゅうえい）のギターコンサートを企画しました。

開催日時／平成26年11月11日㈫
午後６時30分～
会　　場／酒田市民会館・希望ホール
ご 案 内／９月以降、ポスター・チラシ等でご案内します。

入場無料

公開講演会

女性部会主催

「健康教室」のご案内

高齢化社会では、介護という課題に直面する家庭も多くなっています。

明るい老後を過ごすヒントになるよう、施設の見学、介護の現状をお話いただきます。参加希望の方は、事務局までご連絡願います。

開催日時／平成26年７月11日㈮
施設見学　午後１時30分～２時
講　　演　午後２時～３時30分
開催場所／老人保健施設　明日葉
酒田市曙町2-18-6（Tel 22-8335）
講師／医療法人社団 さつき会 理事長 瀬尾絹子 氏

山形県からのお願い

来春高卒者の求人票の早期提出をお願いします

庄内地域の人口減少が、県平均を上回る勢いで進んでいますが、その原因の一つに、この地域の高卒者の県内就職率の低さが挙げられます。

就職氷河期と言われた時代に、県外企業の求人に頼ってきた関係が今でも続く中、求人票の提出の早い県外企業から就職が決まっていく傾向があります。

将来、地元を支える若者の定着を促進するためにも、酒田法人会の会員企業の皆様からの早期求人票の提出について、ご理解とご協力をお願いします。

（山形県庄内総合支庁産業経済企画課 TEL 0235（66）5494）

新規高卒者県内就職率（平成26年３月卒）

村 山	最 上	置 賜	庄 内	県平均
89.8%	69.3%	78.0%	65.3%	78.2%

酒田法人会に感謝状贈呈される

感謝状

公益社団法人
酒田法人会 殿

貴会は国税の申告等に当たり国税電子申告・納税システム（e－Tax）の普及及び利用促進に努められ税務行政の円滑な運営に多大な貢献をされましたその功績はまことに顕著でありここに深く感謝の意を表します

平成二十六年五月二十三日

酒田税務署長　森　俊雄

第３回通常総会の席上、e－Taxの普及、利用促進に多大な貢献があったとして、酒田税務署長名の感謝状が、小山徹総務課長から酒田法人会に対し贈呈が行われました。

昨年11月28日、パソコン教室を会場に開催された「e－Tax・eLTaxパソコン体験講習会」や、７回にわたるe－Tax説明会で、電子申請の割合が向上したことなどが評価されたものと考えます。

犬貝事務局長 永い間ご苦労様でした

平成19年から酒田法人会を支えてこられた犬貝紘事務局長が４月末で退職されました。

任期中「公益法人改革」に逸早く着手し、県内、他単位会に先駆けて、公益社団法人へ移行を果たしました。そのご労苦に対し、総会後の懇談会において、前田会長名の感謝状と記念品が贈られました。会場の会員の皆様からも感謝と労をねぎらう拍手がありました。

平成26年度　３部会

第３回 部会総会が開かれました

法人会の推進力を担っている「青年部会」「女性部会」「研修部会」の３部会の通常総会がそれぞれ開催されました。

青 年 部 会	4月17日㈭	18：30～	日新開発ビル
女 性 部 会	4月23日㈬	10：30～	ベルナール酒田
研 修 部 会	4月16日㈬	12：45～	ベルナール酒田

青年部会

青年部会長

青年部会は、昨年度部会設立から20年を経過する節目の年に当たり、また役員改選期でもあり、新たな体制で活動を行いました。部会の活動力は、酒田法人会の諸活動の推進力として、遺憾なくその力を発揮していただきました。

三委員会（総務交流・税務・社会貢献）での企画検討が早目になされ、先進企業訪問、教育問題をテーマに据えつつ、各事業が積極的に実施されました。

今年度は、組織拡大が重要な課題として、会員拡大交流委員会を発足させ、幹事役員が全員で会員拡大に努力することが確認されました。

従って、「総務交流委員会」の名称を「総務委員会」と改称しました。

８年目に入る継続事業の「出前租税教室」は、４校の小学校で実施し、女性部会と連携し、担当校並びにサポートを行うことが確認されました。

本総会を以って卒業した会員は１人でしたが、今後もいろいろの形で支援をお願いしました。

女性部会

女性部会長

昨年度女性部会も、役員改選期に当たり、新体制で各事業が推進されました。役員の数を絞ったこともあり、９回にわたる役員会を開催し、活発に事業が展開されました。

年間活動テーマを「酒田を識る」とし、講演会を実施、また健康に関する事業も展開しました。

青年部会と連携して実施している「出前租税教室」は４校の内２校を担当し、その他の小学校はサポートしました。

連動して取組んだ「第６回絵はがきコンクール」では多くの出展があり、税に関する啓発に寄与したものと考えます。

全法連の取組みに呼応した「いちごプロジェクト」（節電キャンペーン）は駅前商店街ビアパーティー会場で広く協力を呼びかけました。

今年度も講演会や先進企業の視察を行うなど、会員の相互交流を図ることを確認しました。

総会後、杉原丈夫氏から「江戸時代の酒田～町のしくみと善行者～」と題し、記念講演が行われ、江戸時代の行政組織や人々の生活について、スクリーンを使って分かり易く解説していただきました。

研修部会

研修部会長

昨年度は研修部会に組織を改正し、２年目の事業を実施しました。もともと、実務担当者の研修会として歴史を重ねてきましたが、公益法人化になったことで、より公益性が求められるようになりました。公開講座を取り入れたり、他部会との共催事業も積極的に行いました。テーマも企業で求められる実務だけでなく、介護の問題や、市庁舎建設に係る話など、幅広い内容で毎月の例会を実施しました。

今年度も経営実務を中心にしつつ、幅広いテーマで年間計画を実施し、他部会とも共催しながら取り組んでいくことを確認しました。

総会後、東北財務局　山形財務事務所長の佐藤和久氏から、山形県の経済状況等について、資料に基づいて解説していただきました。